

津市防災だより

令和6年10月1日発行

令和6年 第2号

防災室

☎229-3104 FAX 223-6247

例年8月から10月にかけては「台風シーズン」と呼ばれ、年間を通して台風の発生数が一番多い時期となります。昨今では、台風などによる豪雨や洪水の被害が全国各地で増加しており、中には、尊い命が失われた悲惨な被害もありました。このような状況から身を守るためにも、今一度、自身や家族で避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

災害を想定し、個人・家族での避難計画を考えましょう

1 避難場所を確認！

まずは、災害が発生した際にどこに避難するべきかを確認しておくことが重要です。

右図のピクトグラムは、指定避難所であることを示しており、災害が発生した際にはお近くの指定避難所に避難していただくことになります。地震・津波、洪水、土砂災害など、災害の種別により指定避難所が変わる場合がありますので、ハザードマップで指定避難所を確認しましょう。



指定避難所の
ピクトグラム

2 避難経路を確認！

次に、避難する際の避難経路を確認しましょう。各種ハザードマップを参考に「災害発生時に、自宅がどのような被害を受ける可能性があるのか」「身の安全を守るためにはどこへ避難したらいいのか」などの確認を行い、災害時の避難経路を考えます。

ハザードマップの確認だけでなく、考えた避難経路を実際に歩き、危険な箇所がないかを確認するタウンウォッチングも大切です。災害時に命を守るためにも、今一度、検討している避難経路をご確認ください。

また、災害時には、事前に検討していた避難経路を必ずしも使用できるとは限りません。万が一に備え、複数の避難経路を考えておくことも大切です。



ハザードマップを確認しましょう

ハザードマップとは、自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、地震・津波、洪水、土砂災害などにより被害の発生が想定される区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図です。

津市では今年度、新たに「高潮ハザードマップ」を公表しました。現在、災害の種類別に6種類のハザードマップがありますので、必ず確認しておきましょう。



ハザード
マップ

津市のハザードマップ

- 洪水ハザードマップ
- 地震防災マップ
- 土砂災害ハザードマップ
- 高潮ハザードマップ
- 内水ハザードマップ
- ため池ハザードマップ